

2025 年 6 月 1 日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒280 番（旧 303 番）（SK 姉）

『わが罪のために』

聖書⇒使徒言行録 1 章 3、5、8~11 節（MM 姉）

『イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。

ヨハネは水で洗礼を受けたが、あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を受けられるからである。』

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」こう話し終わると、イエスは彼らが見ているうちに天に上げられたが、雲に覆われて彼らの目から見えなくなった。イエスが離れ去って行かれるとき、彼らは天を見つめていた。すると、白い服を着た二人の人がそばに立って、言った。「ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。』

礼拝讃美歌⇒193 番（旧 298 番）

『われらの住まいは』

聖書⇒詩編 34 編 1~4 節（ES 姉）

『【ダビデの詩。ダビデがアビメレクの前で狂気の人を装い、追放されたときに。】

どのようなときも、わたしは主をたたえ／

わたしの口は絶えることなく賛美を歌う。

わたしの魂は主を賛美する。

貧しい人よ、それを聞いて喜び祝え。

わたしと共に主をたたえよ。

ひとつになって御名をあがめよう。』

聖書⇒詩編 51 編 17 節

『主よ、わたしの唇を開いてください／
この口はあなたの賛美を歌います。』

(祈り)

《パン裂き》

聖書⇒マタイによる福音書 26 章 26~30 節 (NK 兄)

『一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。「皆、この杯から飲みなさい。これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。言っておくが、わたしの父の国であなたがたと共に新たに飲むその日まで、今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。」一同は賛美の歌をうたってから、オリーブ山へ出かけた。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 11 章 23~25 節

『わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。』

礼拝讃美歌⇒148 番 (旧 94 番曲)

『主の御旨により』

(式)

礼拝讃美歌⇒155 番 (旧 208 番)

『神の小羊は』

《建徳》

聖書⇒アモス書 8 章 9~10 節 (NH 兄)

『その日が来ると、と主なる神は言われる。

わたしは真昼に太陽を沈ませ／

白昼に大地を闇とする。

わたしはお前たちの祭りを悲しみに／

喜びの歌をことごとく嘆きの歌に変え／

どの腰にも粗布をまとわせ／

どの頭の髪の毛もそり落とさせ／

独り子を亡くしたような悲しみを与え／

その最期を苦悩に満ちた日とする。』

聖書⇒マタイによる福音書 27 章 46~47 節

『三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。そこに居合わせた人々のうちには、これを聞いて、

「この人はエリヤを呼んでいる」と言う者もいた。』

聖書⇒マルコによる福音書 15 章 34~34 節

『三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。』

礼拝讃美歌⇒256 番 (HS 姉)

『歌いつつ歩まん』

《建徳要旨》